



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生に、原子爆弾の  
ことを教えてもらってよかったです。  
私は、原爆のことをしらなかつた  
ので色々教えてもらって本当に  
楽しかったです。

原子爆弾がおちる場所に条件が  
あって、①直径が100メートル  
の野にあり、②空襲がなかった。  
③風が吹かなくて、④私達の  
近くには、日本におちてこないこと  
を願います。

昔、候補になった都市があったそうで  
す。①広島 ②小倉 ③長崎 他にも、横浜・  
新潟・京都です。原子爆弾は、太陽より熱く7000℃だそうで  
す。人が太陽より熱い爆弾がお  
ちてくると「すみ」みたいにな。てし  
まうらしいです。私はすみになりた  
くありません。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業をうけて原爆<sup>じゅこう</sup>  
 のすごさをまなきました。原爆の中心の温度が  
 100万℃と書いてびっくりしました。ぼくは太陽が7000℃とし  
 らなかったのて太陽の7000℃よりたかいと考えたら  
 考えただけで体があつくなってきました。原爆のぼくはつ  
 とともにほとんどの水が蒸発したときいたとき、原爆のぼくはの  
 の後、生存者がいたとしても水がなくなってけ、ましくんでしまふんじ<sup>おな</sup>  
 がと思いました。ぼくはつての生存者は肉がはがれていてみんな  
 黒こげになっていたときいて心の中は、死持ちわるいと思  
 いました。原爆のおとされる時の映像を見たとき  
 に原爆のおそろしさを思いしらされました。

ぼくは原爆がどれだけのはげい力があるかときい  
 たときに広島をまるごとはげいできる力があるとき  
 いてとりはたがたちました。

ぼくは、こんなおそろしい事はあつてはならないと  
 思いました。ぼくはテレビで「日本はまた戦争ができる国に  
 なるかもしれない」と言っていました。ぼくは戦争をせつたいし  
 ない国をあとづけしてほしいと思います。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくが、気になった事は、火暴弾の事です。爆弾  
 の名前が「リトルボーイ」と言います。「リトルボーイ」は  
 横が3.2m、重さは約5tです。原子爆弾投  
 下都市の条件は①直径5kmを超える。②平野  
 であること③空襲がなかったです。候補に  
 なった都市は①広島〜横浜 ②川倉〜  
 新潟 ③長崎〜京都を候補にしようです。  
 爆弾は目標地点の5km離れた所から落  
 としてきて高さは、962m爆発の威力は直径200mも  
 あります。投下高度から500mです。温度は爆発し  
 ている中心は100万℃で、回りが7000℃です。地面は300  
 0℃です。  
 今後、ほいまたい事は、自分の命を大切  
 にして行く事です。原爆先生の授業を受  
 けて改めて、思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、始めて戦争のことをこんなにくわしく  
知りました。

原爆が落とされたことで多くの命がなくなり原爆によって手  
がただれている話や、生きている人のイ傷口にもうじ虫  
がわいていたことを聞いて、すごくおそろしかったです。

そのことが現実にあったことがすごくおそろしかったです。  
戦争を知らない私達ができることは、二度と悲  
しい戦争をおきないことを原負うことです。

今私にできそうなことは、友達とケンカをしても、きちんと  
話をして自分が悪ければ、なおに言まって仲直りをするこ  
とだと思っています。



原爆先生の特<sup>じゆうこう</sup>別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはこの授業で原爆のおそろしさが分かりました。ぼくは、原爆が戦争よりおそろしい事が分かりました。爆弾は広島県におとされました。広島におとさせた爆弾の名前は「リトルボーイ」という名前です。リトルボーイを日本語で訳すと小さな少年という意味があることが分かりました。ぼくが一番怖いと思った事は、熱線、衝撃波、放射線です。熱線は太陽やマグマよりあついで、考えただけでうがうがしました。ぼくたんのウラニが1kgおんしょうしただけで60kgが爆発すると、広島県全部が、かきまみれになるなんて、想像ができません。ぼくはこの授業で原爆の事が、すこい分かりました。自分も、このような体験は、したくないけれど、この事は、あきらめられないです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の特別授業を聞いてとても悲しい話だと感じました。たとえは、爆発したあと皮膚が落した人が「痛い、痛い」と言っているときがどが生まるい子のが死んでしまっているのがわかる。どいぐざいとい状態にな。てします。ていると聞くととてもハッが痛くなります。

死でしろうと言うのは、自分の家族が死んでしまおうと言う気持ちと同じなのだとおもっています。もし目の前で家族が死んだら、たさどう立ち上加れなうと思ひました。

もしこの人達がいなかったら、と長く戦争が続いたかもしれません。だからもってこの人達に感謝をして、今生きていることに幸せを感じて生きて行きたい。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の言葉を聞いて、アメリカはなぜ日本を選んだのかなどぼくには分かりません。でも広島市にはいた24万人が被害にあっているのですが、ぼくがだしいと思いました。

次に気になったことは、ウラニウムです。なぜかというミサイルにウラニウムという原料がミサイルに60kg使われていたが、爆発して減ったのは1kgだけでした。これを聞いてぼくは、だくがだしいと思いました。

次に気になったのは、池田義三さんのことです。なぜかというミサイルは被爆者にも兵隊として広島市にどうも居合わせていて、みんな光景を見て手をさしのべても皮膚がはがれてうまくトラックに乗れなかった。これを聞いてぼくは、もし自分だったらぼくも心が傷つくと思いました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

私は、図書館で、『はだしのケン』というマンガを言売んだことがあります。戦争のこわさ、家族への思いが強くあらわれていて、心に、強くこびきました。そして今回、原爆先生のお父さんが、実際にたいけんした、お話を聞いて、はだしのケンとはまたちがったこわさと、思いが届きました。「どうして日本は戦争な人がするんだらう」とはだしのケンや原爆先生の話を聞いて、思いました。日本が負けた後、亡くなる人を、火でもやさなくちゃいけません。はだしのケンで、ケンが、かみきでうまっているところに人のうでがあったので、こぼたら、肉やこぶ、か」とれて、骨が、見えました。原爆先生のお父さんも、それを、けいけんして、います。どんな思いだったんだらう？いまでも頭にのこるのだらう。そう思いました。原爆先生の話の中に、『リトルボーイ』時速300km、5トン、熱線・衝撃波・放射線、5人に2人が死亡。など、手がふるえるほどの言葉が出てきました。最後原爆先生のお父さんの映像を見て、自分が産まれてこいたのは、父母、おじいちゃん、おばあちゃんたちのおかげ、『今の大切』、『戦争のおそろし』を、おそわりました。





# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、今日原爆先生の話を聞いて、原爆という物は、恐しくたくさんの人を地獄に落とす物だと思いました。私は、話の中にあつた、表面温度が太陽より熱いという事にとてびっくりしました。もし、そんな物が今落とされたら、熱くて、痛くてとても苦しうなよと思いました。また、死亡率が40%で、5人に2人が亡くなつてゐるという事実を知つて、とても恐しいと思いました。だから、これからは、もう原子力爆弾を落とすのはいけないと思います。そして、そんな物を造るのもつくらない方が良く思います。同じ地球に住んでゐる人達なのに殺すのは、絶対ダメだと私は思ひました。爆弾をつくるお金と技術があるのなら、平和のために使つた方が絶対自分達のためにも良く思ひます。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業で来た事が二つあります。一つ目はどうして戦争になったかという事です。ぼくは、今では日本は向も戦争もないのにと思いました。だからぼくは日本がこれからは昔のように、戦争をせずに平和なままの日本に生きていきたいです。二つ目は、今も戦争している国はいっぱいあるのでそういう事を止めるために何かぼくたちにもできる事があるんじゃないかと思ひました。だからこれからはそういう事を考えていきたいなと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

池田先生の話を聞いて一番心  
に残った事は、原子火暴弾の  
おそろしさです。原子火暴弾のこわい  
ところは、熱系泉、衝撃波、放  
射系泉です。熱系泉は、爆発の真ん中  
だと100万度で表面は、17000度です。太陽  
の表面より暑い温度だからどれほどあ  
る暑さか想像つかなくてごわくなりました  
した。衝撃波は音速より速くてびっくり  
しました。

ほくはこの授業を通して戦争のこわ  
さを改めて感じました。戦争で人を殺し  
てうれしい人なんていないと思うので  
何かあっても戦争はいけなないと  
思いました。戦争をしていなければ  
何人もの人達の命が助かったと思いま  
す。これから日本が平和な国でいてほ  
しいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講する前は、話は聞いていましたが、実際どのような授業なのかは知りませんでした。そして、原爆先生の授業で、様々な原爆先生のお父さん体験談を聞いて、原子爆弾とは数えきれないくらいの人を被爆させ、まるで死んでいるのか生きているのかと「うかおからないような姿にさせてしまうのか」ととてもおそろしくなりました。また、授業中に見たビデオで、原子爆弾を投下したエンラ・ケイの中の軍人たちは、原子爆弾で死の世界と化した広島を見て、ぼう然としていました。原子爆弾は投下した人たちも後悔させてしまうくらい、悲惨なものなのだと改めて実感し、これからの社会でも戦争というものは絶対にあってはならない、悲しいだけのものなのだと思うようにぼくはなりました。



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して、私は心に残ったことがいくつもあります。

一つ目は、原爆投下の候補になった京都を選ばなくてやめたことです。理由は、人類として大切で、古い建物などが、爆弾を落とすと、がれきにならないようにするためでした。なぜ心に残ったかという、「自分たちのためだとよく頭が働くな〜。」と思ったからです。もしも、私が爆弾を落とすとしたら、そこまで考えられません。

二つ目は、7000℃もする熱い爆弾に建物の地下のトイレにいて、一人助かったことです。助かった人はよほど運がよか、たのでしょう。太陽の温度(6000℃)よりも、マグマの温度(1500℃)よりも、もっと熱い爆弾は、人の水分をうばい、コンクリートの階段にすわっていたある男性も消えて影だけを残しました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は池田先生に原爆の<sup>こと</sup>を教えてもらいと。とてもよかったと思  
 っています。はげしくあつて。てくは。ていた人々はたくさんいます。  
 私はそんなあつた事はやめてほしいです。人々がかたんに死んで  
 いくのは。とても人がえられない事です。私はそんな人たちは絶  
 対にゆるすことほできません。一人一人のたいせつな命が爆発の影  
 郷<sup>音</sup>で死んでいってしまいます。ラジオゾンテと言って原爆の時に  
 目標の6km前できりはなしラジオゾンテをおとし目標の  
 ところにおちたのは。リトルボーイと言う約4tのものを投下さ  
 せたそうです。私はちと聞きまぐりしました。何にまぐり  
 したかと言うとその重さです。ちとは。ちが1000kgなのてちては。  
 約500kgの重さになります。私はその重さを聞いてまぐりし  
 ました。ほかにも爆発は2回おちています。1回目は。広島で爆  
 発して。2回目は。長崎で爆発したそうです。どちらにも原子爆弾  
 を投下させて爆発させたそうです。ちの中へは。ウラン  
 が6kmほいでいたけど1kmしか。ねんしょうしなかつたさう  
 です。私は。爆発のいしゃんて人の命をむだにしてほいけ  
 ないこととりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受けて、戦争はとてもこわいということを原爆先生のお父さんが体験した話を聞いて改めて思いました。

原爆先生の話は、私が想像していたことよりもこわくて、悲しいことになる話ばかりでした。

その中で一番びっくりしたことは、爆弾の周りの温度は、太陽よりも1000度高い7000℃ということでした。太陽よりも熱い物があるんだとびっくりしました。

びっくりしたことはそれだけでは、ありません。7000℃の物がスカイ・ツリーの第二展望台の高さにあると地上の温度は3000℃にもなると聞いた時、ぞとしました。山の底にあるマグマの倍の気温になると人は、溶けて消えてしまうそうです。原爆先生から聞いた話は大人になっても忘れないように、頭に入れておきたいです。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私が原爆先生の授業を聞いて思ったことは、原爆は人を人ではなくするおそろしい兵器だなということです。空からも、地面からも熱い空気や光が入ってきて、熱い水に入ってもその水も蒸騰し逃げる所もない、まさに生き地獄だと聞いていて思いました。救いの手をさしのべても反対に自分の手で、相手の皮膚をはがし痛みで相手を苦しめてしまったり...原爆は、人を地獄に落とす兵器、そう感じました。

今、世界にある原爆は、広島や長崎に落とされた物以上の原爆ばかり。こんな原爆を落とせば地球がいくつあっても足りない。今の世界は、広島に原爆が落とされた時のことを忘れ、もう一度同じ非劇を繰り返そうとしているのではないかと。少しでも多くの人に原爆の悲惨さを知ってほしい、平和の大土刀さを分かってほしい。原爆先生の話を聞いてそう思いました。





原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくが心に一番のこころは、  
 原爆です。原爆は、リトルボーイ  
 よはあつたんです。リトルは、小さい男  
 ボーイは、男の子、小さい男の子みちに見  
 えただけで、あつたんです。  
 リトルボーイは、ぼくはつた日、東京形  
 になり、その中心は、100万になり、その面積は、  
 7000になり、その高さ、ぼくはつた2、3の  
 で、地面は、3000になりました。  
 たつたのは、1500になった、その2倍に  
 なったので、すごいです。思いますが、  
 一回目はたつたけど、二回も落ちて、  
 人が、ぼくはつたので、  
 この前は、えんなことは、せ、たつたのは、  
 つけな、と思えます。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、広島に原子爆弾が落とされた  
 ということは、少し前に聞いたことがありましたか。  
 くわしい内容は、知りませんでした。原爆先生  
 が、池田義三さんの代わりにしゃべっていることが、まるで本人が  
 しゃべっているようで、とても聞きやすかったです。  
 原爆先生の授業で一番心に残ったことは、2つあり  
 ます。一つは、原子爆弾のソリやくが、  
 爆心地の近くにいる人たちは、黒いけにちが、  
 消えようといふこと  
 で、聞いた事は、とてもおどろきました。幼児をかかえたまま、  
 逃げた人という事におどろきました。  
 二つめは、原子爆弾の温度です。原子爆弾の中心の温度は  
 100万℃、体肌は約1000℃と、想像、出来ないうるの熱さです。  
 私はこれを知り、こんなに、  
 被害者は、こうた、  
 原爆先生の授業を受けて、悲しくて、胸が苦しくなることと、  
 たけい、命の大切さ、色、  
 合と戦争などが、ある国とあり、  
 が、昔と違って、世界中が平和にな、  
 思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を受けて、私は  
はこわいと思いました。肌がドロドロ  
にとけてうい虫がわいたり、はがれ  
落ちたりしておどく痛そうに考えたけど  
も戦争はおそろしい事なんだなと思  
いました。

でも、今また法律が変わろうとして  
いていつ戦争が起きてもおかし  
くない世の中になっっていくかもしれな  
いので絶対にそんな国になっほし  
くないと思います。

私はそのために、何をおろせきが考  
えさせられる授業でした。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、今回の原爆先生の授業を受けてわかったことや思ったことがあります。

一つ目は、たった1kgのウラニウムが、広島町や、人下をなくした。ということ。私は、このことを知って、たった1kgのウラニウムでも、すごい、びっくりがあるのに、60kgも入っていたと思うと、すごくおそろしく感じました。

二つ目は、アメリカが、日本を、おそったこと。私は、今と比べたら、アメリカよりも中国の方が、敵で、アメリカは、とても、信託があると思います。しかし、この原爆の時では、アメリカが日本をおそったので、私は、おどろきました。

私は、まだ、たくさんのおどろきました。か、この2つが、心に残りました。

また私は、この原爆では、熱線、衝撃波、放射線と、いう3段階、あることが、初めてわかりました。

そして、私は、この原爆で、いたいたしてにんむを、していた人々と、自分の生活を比べて、とても、あわ世なことをあらためて、感じられることができました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆先生の特別授業を受けて、  
原子爆弾の恐ろしさを知りました。

原子爆弾で、5000mくらい焼けてしまって、外国の  
爆弾は危ないと思いました。

5人の中で、2人が亡くなっているし、広島に落  
とされた爆弾は、太陽よりも暑い7000℃で  
なによりも怖いなと思いました。

広島に落ちた爆弾は、速さ600mで、何処かは  
なれた戸介で落ちて、たちまち大きく黒い  
雲が上がりました。その落ちた時は7000℃の熱で  
灰になってきえる人もいます。原爆先生のいわ  
いたとおり、あらためて、原子爆弾は人の命をな  
した物であり、爆弾がどんなにも怖く、

怖い物だと知りました。今は平和なけれど  
も、昔は大変な思いをした人たちは、いまだ  
に、家に帰れていない人達がいることを知ります。  
原爆先生にお話をうかがうと、人を大切にするこ  
とも学び、これから生かせるようにしたいです。爆弾は  
怖い事を心の中にしまっておくようにしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受けて一番に感じた事は原爆のおそろしさです。太陽より熱い熱線と衝撃波放射線がツマにふりかかり一瞬にして人間が人間でなくなってしまうおそろしいと思いました。けがをした人の話もとてもひどくてかわいそうだと思いました。

広島に投下された爆弾はリトルボーイという爆弾で原料はウランが60kg、その内の1kgが爆発したと聞きました。もし全部が爆発したら日本がなくなるのかと思いました。

こんなひどい事が二度とあってはならないと思います。戦争は人の命をうばうだけで何も得られません。

今度広島に行ったら原爆ドームとこゝろとは思いますが原爆資料館に行きたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

（ぼくは、原爆先生の特別授業を受けて、戦争の時にあった事が少しだけ分かりました。一番最初にびっくりした事は、戦争について話していた池田貞徳さんが自分のお父さんの池田義三さんの事について話していたことです。最初の聞いた時は、たまたま名字が同じなのかと思いました。

戦争の時の、エノラ・ゲイという爆撃機にらんものっていた事がびっくりしました。広島に投下された原爆「リトルボーイ」という爆弾が爆発したときに、太陽よりも1000℃も高い7000℃の熱さがあったということと、衝撃波の速さが、毎秒500mもあることがとてもびっくりしました。60kgのウランがあってその中の1kgの爆発であただけあごいなら全部爆発してたらとねたけ大き爆発になるのが想像するだけでとてもすごいいと思いました。

これから、ぼくたちにできることは、また同じような戦争をくり返さないようにすることだと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は昔から、おばあちゃんから原爆や戦争のことをたくさん聞いていました。ある時は「火の海をお母さんにつれられてにげ回ったんだよ。」などその時、経験したことを話してくれました。今思うと私は、あの時「かわりそうだな。」としか思っていなかったんでしょう。なぜそう思ったかという、今回聞いた池田さんの話だとてつもないショックを受けたからです。その中でも一番ショックを受けた話は池田さんのお父さん達が爆心地に行った時のことです。その時、目のあたりにした風景などが私の頭によこぎ、ていくと私の心がとてもしめつけられたかのように痛くなりました。この話を聞いて、戦争は絶文寸良くないという思いが、いっそう強くなりました。また、原爆を落とす候補になった都市に横浜、新潟がありました。もし、そこに落ちていたらおばあちゃん達は、いないと思うと背すじがゾクッとしてしました。私は池田さんに本当に感謝しています。今回教えてくださったことを大事にして、これからも生きていきたいです。





原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/2

「原爆先生の特別授業のタイトル「7000℃の少年」  
とは、何を意味しているのかわかりませんでした。しかし、それは、原子爆弾の爆心直下が7000℃ちかくになると聞き、おそらく「7000℃の少年」とはそれのことだろうと思いました。またなぜこれをタイトルにしたのかと考えると、やはり日本は世界で唯一の被爆国であるため、たくさんの方々が色々な原爆病に悩まされている人がたくさんいます。だから原爆を投下するような悲惨なことがないように教えつけてほしいと願いがこめられているのではないかと考えました。

さて、その原子爆弾投下者陸の条件に、すべてあてはまると、町を効果的に破壊してほしいと思います。また投下者陸の斜線をぐり、そのなかでも取りかかっていたのは「京都」でした。しかし、京都は「千年の都」として栄えていたたくさんの文化財などがあり、原爆を投下し、破壊してはいけないと思ったのでしょう。そこには感心しますが、やはり原爆を落とさなければならぬから仕方なく投下されたのです。このような話をしてくれた「さつた池田真徳」さんに感謝し、話をもとに私たちは、これからの社会を戦争が一つも起こらない平和で楽しい時代を築いていかなければいけないと強く思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私はあまり原爆のことをよくは知りませんでした。そして、私の誕生日の日、8月9日か長崎に原爆が落とされた日だということも、初めて知りました。毎年毎年、とても喜んでいただけると、過去に悲しいこともあったので、本当に喜んでいいのかと思ってしまいました。

池田先生の話聞いていて、一番心に残ったのは、「奇跡的に兵士たちや、バスに乗った人たちが助かった話です。兵士たちはバスを待っている時にドラム缶にもたれかかて、影になっていたおかげで、光を浴びずに済みました。バスに乗っていた人たちは、バス自体がべいにかくれていたもので、助かったそうです。その話を聞いたときに「たくさんの方が亡くなったり、苦しんでる。光景を目のあたりにして、精神的にきつかったらうし、自分もたえられないほどの痛みだったらうけど、今、生きてぬいて、こうして、重たい口を開いてくれた。だから、私たちも、『二度と繰り返してはならない』という思いで、今後の未来の人たちに伝えたいです。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

池田さんが体験した『7000℃の少年』という映像を見て、  
ビクビクしました。

なぜかと言うと、昔広島におとされた原爆だけでなんと  
死亡者が14万人もの人が亡くなった事ですか？

その時池田さんは広島にいてフラッシュのようないっしんの  
光がピカッとまきこけいしょうでしたかきまうしなっていた  
たさうですか？

なんで広島になつたのかと言うと、京都がいろいろおしだしたら  
いけど京都は、1千年をこえるふるいお寺があった  
し、日本の中でも有名だったから ①広島だめだった  
ら②小倉をれもだめだったら③の長崎だ、たさうで  
す。

ばくだんも工夫しておとしたさうです。パラシュ  
ートでは位置のずれがあるからラジオゾンデ  
をパラシュートにぶらさげておとしたさうです。  
フラン60kgの中でもばくだんでおとしたのは  
1kgだけだったさうです。1kgだけでも広島  
全体がやけたのにあと59kgもおちたらと想  
像するだけで体がゾッとしました。